

六月己書同好会研修会ミニ作品展

実施日：令和8年6月8日 13:30~15:00 (月曜日)

朝晩の冷え込みがあり、長袖シャツの上から半袖ポロシャツを羽織れば日中は夏の陽気でかなりの蒸し暑さ高齢者には体温調節が、かなり難しい。いつの間にか気がつけば名古屋も梅雨の入りになりました。

新しく入られた村上総務委員長の挨拶で、今日は男性5名、女性4名。

現役役員の入会で己書同好会もメンバーが充実し同好会の休部の憂いが無くなり小塩講師も一安心です。

早速己書と絵手紙の違いの質問があり小塩講師も躊躇され、何処がどう違うのか全員が思案し、結論が出ないまま作品展の講評になりました。

家に帰り、考えたが、いい知恵が思い浮かばず試案投げ首。最近では親子喧嘩もAIに頼る時代。AIに聞いてみました。

「筆ペン文字をメインに考え、アートが従であれば己書。相手に送る事を前提として現在の感動をプレゼントするのであれば絵手紙。」「分かるかな？ 分かんないかア？」「何だかじっくりこないネ」(文責：宮田)

お手本今月の課題：筆文字が主

己書の基本セオリーが小中学生の習字の手習いの概念と余りにもかけ離れているので文部科学省からクレームが出ないかな？



ミニ作品展の多数の力作

